

【講演者プロフィール】



柳澤 厚生 点滴療法研究会マスターズクラブ 会長

杏林大学医学部卒、同大学院修了。医学博士。杏林大学保健学部救急救命学科教授を経て、2008年より国際統合医療教育センター所長。2008年点滴療法研究会会長、2009年第10回国際統合医学会会頭、2011年国際オーソモレキュラー医学会殿堂入りし、2012年会長に就任。2015年事業構想大学院大学客員教授。

日本で初めてマイヤーズカクテル、グルタチオン療法、高濃度ビタミンC点滴療法を導入。

最新著書に「ビタミンCがガン細胞を殺す」「超高濃度ビタミンC点滴療法ハンドブック」(角川SSC)、「グルタチオン点滴でパーキンソン病を治す」、「つらくないがん治療 高濃度ビタミンC点滴療法」、(GB)など多数。



喜多村 邦弘 喜多村クリニック 院長

川崎医科大学卒業。福岡大学大学院医学研究科修了。医学博士。福岡大学筑紫病院外科勤務を経て、2002年喜多村クリニック院長。200年統合医療でがんを治療する福岡統合医療センターを併設。がん患者さんに勇気と希望を与えることを使命とし、副作用がなく元気に生活できるがん治療を実践している。

著書に「あなたはなぜ、がんを治したいのですか？」(主婦の友社)がある。

International Organization of Integrative Cancer Physician (IOICP) 会員、点滴療法研究会ボードメンバー